

ひがしそのぎ 議会だより

第150号



新議員全員集合

6月定例会

町政を問う!7人が一般質問	2~5 ページ
条例改正	5 ページ
町長給与50%カット決まる	6 ページ
補正予算等	7 ページ
議長就任挨拶・委員会構成	8 ページ

一般質問

(本稿は質問者の責任で作成しています)



吉永秀俊 議員

オフテック通信サービスの今後と光ファイバー整備計画を問う

【議員】平成30年3月から廃止されるオフテックサービスの代替案はいつごろまでに結論を出され、町民に対する説明会はどのようにされるのか。

【町長】NTT光ケーブルの活用を考えている。8月ごろから町内5か所ぐらいで説明会を行い今年度末までに結論を出したい。

【議員】代替案を検討するにはオフテックの利用状況を正確に把握する必要がある。現状と一昨年のアンケート調査の結果と検証は。

【町長】今年4月の加入率は50%を割っている。

上地区は80%以上あるが、街中は20%前後で地域間格差が大きく、高齢者世帯からのニーズが多い。火災・災害などに関する放送が最も必要とされている。

【議員】光ケーブル敷設のエリアはどのように検討されているのか。

【町長】町内全域を考えている。

【議員】事業費の総額とNTT西日本との負担率は。また財源の詳しい中身は。

【町長】総事業費が4億5億円で町の負担は約2億5千万円を想定している。大半を基金で、残りの約1億円は一般財源と辺地債からの充当を考えている。

【議員】川棚町は光ケーブル整備費約4億円を全て負担したのに比べ、6割の負担で整備が出来ることは評価したい。オフテックの代替案については地区間、世代間格差が大きいの町長も自ら出席して詳しい丁寧な説明をすべきと思うが。

【町長】ぜひ、そうしたいと思っている。

【議員】光ケーブル利用には、宅内工事費、光ボックス購入費などに約3万円、毎月の利用料金も3千円、6千円かかるが補助金の検討はされているのか。

【町長】初期費用については検討したい。

【議員】千綿女子高等学園跡地に農業法人の進出が決まったことは本町にとつて喜ばしい事案であるが、事業内容と地元からの採用、及び外国人実習生について伺いたい。

【町長】ハウス栽培をされるようである。地元からの採用は4名、5名と聞いている。ブラジルなどの実習生が主なので不法滞在等の心配はないと思われる。

【議員】観光協会の独立と道の駅周辺管理の今後については。

2期連続無投票当選と給与削減公約の因果関係について



大石俊郎 議員

東彼杵町を活性化させるため、あるいは業務改善に対する提案書提出について、町長の考えを問う

【議員】町長、職員、議員が町民の先頭に立って、町を活性化させるための具体的提案を年一回は提案していく。このような姿勢が町を活性化させていく原動力になると考えているが、町長のお考えは。

【町長】議員提案の件は既に実施しており、採用する考えはない。提案書の件もホームページに既に載せている。

【議員】ホームページだけではなく、色々な方向から活性化策を求めていく姿勢が重要であると考えている。

【町長】必要性はないと考えている。

【議員】給与50%カットが無投票の一因になっていると思わないか。

【町長】給与50%カットが無投票の要因になつていないと思わない。また、公約撤回の意思もない。

【議員】町長選に出馬したいという50歳代の会社員の方が、現在40万円から50万円貰っている。仮定してみましよう。対等の条件で選挙戦を戦うためには、やはり給与50%カットの公約を余儀なくされる。そのような会社員の方が選挙というリスクと月額給与を37万円に落とすまで出馬されるだろうか。

【町長】町議選においてもそのような方が出たおられた。

【議員】50%の給与カットの意味合いが65歳以上の年金受給者とそうでない人では、月額収入が大きく違ってくる。公約に使う事はアンフェアであり、公平性を大きく逸脱するものである。選挙の公約としては適切ではないと考える。再度、公約



立山裕次 議員

所信表明について

【議員】人口減少についての危機感を、多数の町民の皆さまが認識されていないとのことですが、大事なことだと思いますので、今後はどのような方法で、認識していただくのか。

【町長】色々な集会(区長会・女性対話集会等)で話をしているが、ほとんど伝わっていないと感じている。今後は、議員の方々が地域に向向いて伝えていただきたい。

【議員】特に、若い保護者等に伝わっていないと感じるが、子供会やPTAの集まりなどに向向いて伝える考えは。

【町長】呼んでいただければ、積極的に向向いて伝えるようにしたい。



【議員】出生率向上のため、結婚・子育て支援の更なる推進を図っていくとのことですが、現在の取組の見直し等を含め、新しい施策等はどういう考えか。

【町長】今は、具体的に言えないが、9月議会でも提案したい。但し、現在の制度も、近隣の市町に比べ見劣りはしていない。

【議員】高校生を持つ家庭が、通学費を払うよりは、少し家賃が高くても高校がある市や町に移住していると聞くが、通学費の補助は出来ないか。

【町長】財政的に難しいので、町営バスで対応できないか検討してみる。

【議員】経済的な支援と



して、高校生の学生服のリサイクルが出来ないか。

【町長】良いアイデアとは思いますが、町に頼るのではなく、どなたかにやってもらいたい。それだと国からの補助も期待できる。

【議員】需要があるかだけでも調査は可能か。

【教育長】需要についての調査は可能です。



浪瀬真吾 議員

住んでみたい住づくりの方策

【議員】住民主体の地域づくりで、積極的な地域社会への参加の方策は。

【町長】各地域での祭りやイベント、更に各種作業等出身者などその地域に関わりのある人に参加を呼び掛ける。

【議員】交流、定住人口を拡大する町づくりの中で、農山村での体験学習や、「安心して子供を産める社会」のための給付制度や補助制度の見直しは。

【町長】農業・林業・漁業の経験を子ども達にさせることによって、人間として必要な社会のルールなどの規範を得ることが出来ると思う。安心して子どもを産める社会では、国の補助事業の別に町単独事業をやっており県内でも見劣りしない。

9月議会です示したい。

【議員】農林水産業の振興策の中で、農産物の価格の低迷による複合経営の作目は。

【町長】農業の経営体の事なので、農業者が決め所得の向上を考えなければならぬ。

【議員】お茶の新しい技術開発は。

【町長】CTCハイブリッドライン(粉茶を造る機械)の導入について県の方にお願いをしている。また、水産業ではブルーーツリズムを考えている。

【議員】商工観光業の振興策は。

【町長】プレミアム付き商品券の販売をやっている。

【議員】道の駅について国土交通省の防災拠点の整備計画は。

【町長】防災拠点の予算が付き、国交省の調査後水や食料の倉庫が出来る。

【議員】病児保育をしてくれる病院施設等は。

なら町内の保育園等ではないか検討をしている。

【議員】環境保全、環境整備計画の中で、国道205号線の渋滞解消を図るための要請活動や道路網の整備・維持管理は。

【町長】205号線については、国・県への要請活動を行う。道路網の整備については、木場本線、大野原高原線(中尾本線)、大野原高原線(法音寺工区)、平似田・太ノ浦線、里・一ツ石線、遠目中央線などを行う。

【議員】光サービスの導入は。

【町長】長崎県の本土で東彼杵町だけが導入されていないので出来るだけ早い時期に整備したい。

【議員】小学校統合計画の進捗状況と、中学校の統廃合は。

【議員】 緑茶を1日に5杯以上飲む人は病気になるににくいことや、茶の産地である静岡県掛川市ではガンによる死亡率が最も低いと報道されました。平均寿命が延びても健康寿命との差が広がれば経済的や家族への負担が大きくなります。

茶の効能について、医療機関と連携して町民の健康追跡調査など実施する考えは。

【町長】 すでに国立がん研究センターで研究されており、コーヒーはポリフェノール、緑茶はカテキンなど研究されている。また、全国でも研究されているし、町としては他地域と比較して健康寿命は保持されていると考えているので、調査を実施する考えはない。

【議員】 製法や品種に

住民全体の地域づくり & 交流 定住人口拡大について

森 敏則 議員



【議員】 住民主体の町づくり支援策は。

【町長】 それぞれの家族、地域を支える人達が主体となる、集落点検の取り組みを計画している。(9月議会で予算計上予定)

【議員】 若年層の町外流出防止策は。

【町長】 基本的には家庭の問題だから、行政が止めることはできない。

【議員】 出産祝い金(10万円)・育児報奨金(10万円)を100万円(人口増につなげる)に増額して支給できないか。

【町長】 現在、第3子からの支給を、第1子から考えている。(9月議会です算計上予定) 100万円支給するとしたら、財源を確保しなければなら



課設置条例の一部改正

町行政の機能的組織、体制づくりに向け、役場組織の見直し等を行うため

- 町民生活課 ⇒ 町民課
- 町民福祉課 ⇒ 健康ほけん課
- 産業振興課 ⇒ 農林水産課

委員会の所轄と役割

- 【総務厚生常任委員会】 総務課・まちづくり課・財政管財課・町民課・健康ほけん課・税務課に関する審議、審査、調査等
- 【産業建設文教常任委員会】 農林水産課・建設課・水道課・教育委員会に関する審議、審査、調査等
- 【議会広報編集常任委員会】 議会広報に関する編集等
- 【議会運営委員会】 議会運営に関する日程等の審議等



岡田伊一郎 議員

健康寿命社会の実現は 町職員安全衛生管理は 充分か

よる調査で健康面での効果が表れたら、緑茶消費拡大の戦略として利用できないか。

【町長】 食品表示法の施行による機能性表示食品として取り組めないか検討したい。

【議員】 産業界によるストレスチェックはどうなっているか。

【町長】 今のところ長期休職者は少ないが、休んでいる職員は数名いる。いちばんストレス度が大きいのが両親の死亡などである。

いちがいに職場環境によるとは言い難い。うつ病になつたら、頑張れという言葉が悪化させる要因とも言われているので、その時は充分休む必要がある。

【議員】 産業界の確保はできているのか。

【町長】 労働安全衛生法の一部を改正する法律が施行されることに伴い医師によるストレスチェックが義務化される。

【議員】 給食費の全額支援(無料化)は。

【町長】 全部無料にしてしまえば、子供達に教えることができる。自分達でできることは、負担してもらおう。逆に言えば、親が作った弁当が一番良い。給食を止めることはできないので検討したい。

【議員】 大村湾パークینگエリアの周辺整備と高速バス停開設は。

【町長】 全国の高速道路で、市町村の店舗は無い。しかし、国・NEXCO 西日本に申請し、全国初の特区として周辺整備をしたいと考えている。バス停は引き続き開設を要望する。



今は産業界の資格者が近隣にいらつしやらないので、確保できていない。早急に確保できるように取り組む。

【議員】 大人社会でのいいじめ、パワーハラスメント、モラルハラスメントが多いと言われているが。職員の適材適所の配置も考える必要はないのか。

【町長】 職員の適正をひとりずつ把握するのは困難である。

与えられた仕事を選別していたら、誰も関わりたくない部署が出てきたら、職場としてはならない。

直属の上司である課長等には、職員の状況について配慮するよう指導はする。

前田修一 議員



所信表明について

【議員】 保険医療福祉計画の介護予防の基本的考え方は。

【町長】 本人の自覚が第一である。2025年には介護難民が43万人になる。いきいきサロンの拡充強化及びスポーツクラブでの健康体操また「よんなつせ」への参加呼びかけを通じ、介護が必要にならないように支援していく。

【議員】 在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業及び認知症総合支援事業に係る規定について、平成30年3月31日まで実施を猶予されたことを、専決処分されたが、なにか問題があったのか。

【町長】 問題があるのではなく、今から考えるためである。

【議員】 環境保全、環境

整備計画の中で重点項目、優先する項目は。

【町長】 国道205号線バイパスの計画路線への格上げ、又町営バスの路線問題の検討では千綿駅及び道の駅をバスセンター化し、観光面での利用も行う。

【議員】 千綿駅は、国際団体の月刊誌の表紙にも採用された。このような機会を確実にとらえて、東彼杵町の宣伝のために役立てられたい。行財政運営計画において、人材育成と職員の意識改革はどのように行っているのか。又長崎県で行っている各課別の自己評価は行わないのか。



【町長】 個人別の自己評価は行っている。各課別の自己評価より、現在行っている4半期毎のPDCAが、繰り越し事業の減少には、効果がある。

【議員】 町長は再選されたのですから、現在の人員で、今後4年間、しっかりとした町の運営を要望する。

平成27年度各会計補正予算を可決!

一般会計補正予算 (第2号)

歳入歳出それぞれ3億3794万円を追加し、総額を50億1914万円とするもの。
 歳出では、社会福祉費755万9千円、農林水産業費3345万4千円、道路橋梁費6220万円、防衛施設周辺整備事業3200万円、小学校費1億1888万9千円、学校給食共同調理1244万円合計で3億3794万円追加された。
 歳入では、特別財源として土木費などに伴う国庫支出金に1億1603万3千円、町債に1億880万円又、一般財源として財産収入3885万円、町税2659万9千円、等計上された。



介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出それぞれ125万8千円を追加し、予算の総額を8億8125万8千円とするもの。
 歳出では、介護保険制度改正によりシステム改修の為、総務費に、125万8千円を追加された。
 歳入では補正の財源として国庫支出金62万8千円、繰入金63万円を追加するもの。

農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出それぞれ200万円を追加し、総額を4200万円とするもの。
 歳出では、西部地区管路補修に伴う工事請負費200万円の計上である。
 歳入では、繰入金200万円の追加された。

繰り越し明許費に関する報告

平成26年度より繰り越されたもの

一般会計

総額、3億5109万3千円

一般会計事故繰り越し

435万2400円(4回に及ぶ入札不調により建設業者決定が1月下旬となったため)

簡易水道事業特別会計

520万円

公共下水道事業特別会計

1億1786万5千円

町有地、株式会社富建へ売却

- | | |
|----------|----------------|
| 1 処分の目的 | 立地企業の施設建設用地として |
| 2 処分予定価格 | 約5100万円 |
| 3 売却予定地 | 三根郷字東舞山 |
| 4 売却面積 | 約1万5千平方メートル |

特別職の給与に関する条例の一部改正

現下の財政状況等を踏まえて町長の給与及び期末手当を平成27年7月分から平成31年5月支給分まで100分の50を乗じて得た額を控除して支給するもの



賛否表 (賛成○ 反対●)

口木	吉永	岡田	前田	橋村	立山	浪瀬	森	大石	堀
●	○	○	●	●	○	○	○	○	○

賛成討論

対抗馬も出ず無投票であった。
 50%でもやるという事で町民も信任した。
 未曾有の災害等が発生した場合、基金などに余裕がなければ、身動きが取れない。
 財源を確保されるのは良いこと。
 一般的な経済論と町長の給料半分は、全く関係ない。
 町長も議員も自ら手を挙げて公約し、それぞれ町長や議員になっている。
 町民と公約されたことを議員が破れとは言えるのか。
 町長が議員の報酬を下げろと言えるのか。
 町長自身が決めることで干渉すべきでない。
 町長が削減した金で、やりたい施策を是非やって欲しい。

反対討論

給与とは労働と責任に相応する対価である。先人たちが町長の激務と重責を鑑み評定した対価への否定である。
 自ら、給与半額し公に奉仕する崇高な行為は尊敬に値するし称賛されるむきもあるが、これは情実論で論じるべきではなく経済的施策と受け止めるべきだ。
 安売り合戦がデフレを招き地域経済が衰退したのと同じスパイラルであり、必ずや負の連鎖方式を招くと考えられる。
 仕事をより多くした人、成果を上げた人、責任ある人、頑張った人が報われる社会が資本主義社会の原則であり、全体の活性化に寄与する制度であるなら労働量と責任に応じた対価に必然性がある。であるなら、仕事量、責任に応じた給与を受け取るべきだ。
 また、基金等も増加し全体的な財政状況も良好であり選挙と給与は切り離して論じるべきだ。

議長就任挨拶



東彼杵町議会議長 後城 一雄

町民皆様方には日頃より東彼杵町議会に対しまして、御理解、御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

平成27年5月22日より東彼杵町新議会人として、定数11人の任期が始まっております。

国におきましては、財政問題、環太平洋経済連携協定（TPP）問題、防衛問題等々大きな変革が国民に押し寄せてくる平成27年ではないかと思われまます。

我が町も少子高齢化、人口減少、財政難、環境問題等で町道、農林道の管理を非常に心配しておりますが、今の所は町民皆様方の御理解のもとボランティアで御協力いただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

いずれにいたしましても、小さな問題から大きな問題までを抱えながら、町民皆様方の御理解と御協力をいただけますよう円滑な議会運営に努めるとともに、議会と執行部が切磋琢磨し、それぞれの領域を侵すことなく、初心を忘れず誠心誠意、公正、公平に取り組んでまいりますので宜しくお願いを申し上げます。

◇議会委員会構成表◇

議長 後城 一雄
副議長 堀 進一郎

(◎委員長、○副委員長)

委員会名		委員名		
常任委員会	総務厚生 常任委員会	◎浪瀬 真吾 前田 修一	○岡田 伊一郎 口木 修二	堀 進一郎
	産業建設文教 常任委員会	◎吉永 秀俊 森 敏則	○大石 俊郎 立山 裕次	橋村 孝彦
	議会広報編集 常任委員会	◎橋村 孝彦 浪瀬 真吾	○口木 俊二 前田 修一	大石 俊郎 立山 裕次
議会運営委員会		◎前田 修一 浪瀬 真吾	○橋村 孝彦 吉永 秀俊	堀 進一郎 立山 裕次
東彼杵町監査委員(議会選出)		岡田 伊一郎		
東彼杵町学校給食センター運営委員		森 敏則		